

「北九州市道路整備中長期計画（改訂素案）」に対する
市民意見提出手続きの実施結果について

1. 意見募集期間

平成27年6月1日～平成27年6月30日

2. 意見提出状況

(1) 提出者：25人

(2) 提出意見数：31件

(3) 提出方法：ア. FAX：1人 ・ イ. 電子メール：10人
ウ. 郵便：2人 ・ エ. 持参：12人

(4) 意見の内訳

区分	件数
ビジョン1 都市の発展を支えるみちづくり	6件
施策1 国際競争力を強化する広域物流ネットワークの構築	4件
施策2 都心や副都心等に活力を与える中心市街地の道路整備	1件
施策1・2共通	1件
ビジョン2 安全・安心な暮らしを支えるみちづくり	8件
施策3 道路空間の有効活用及び再配分	3件
施策4 街路灯、生活街路灯の整備	0件
施策5 交通事故削減に向けた交通安全対策	3件
施策6 電線類地中化	0件
施策7 面整備を活用した道路交通の環境改善	0件
施策8 橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化	1件
施策9 舗装維持修繕計画の策定	1件
施策10 人にやさしく安全安心なまちづくり活動の推進	0件
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり	11件
施策11 小倉都心部低炭素まちづくり推進プランの取り組み	1件
施策12 北九州市環境首都総合交通戦略の推進	1件
施策13 魅力的なみちづくり	4件
施策14 道路サポーターの充実	1件
施策15 北九州風景街道の推進	1件
施策16 中心市街地のサイン整備	2件
施策17 道路照明のLED化	1件
その他	6件
計	31件

(5) 計画への反映状況

区分	件数	割合
① 計画に掲載済み	14件	45%
② 計画の追加・修正あり	4件	13%
③ 計画の追加・修正なし	9件	29%
④ その他	4件	13%
計	31件	100%

北九州市道路整備中長期計画（改訂素案）に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン1 都市の発展を支えるみちづくり 施策1 国際競争力を強化する広域物流ネットワークの構築				
1	・陸上のネットワークを更に強化するために環状線を形成してもらいたい。	本計画では、都市高速道路、黒崎バイパス、若戸大橋、若戸トンネル、戸畑枝光線による「環状放射型の自動車専用道路ネットワーク」を形成することとしています。 （本編P10）	2	①
2	・下吉田二丁目付近では、数年前の自衛隊曾根訓練所～中吉田二丁目の道路拡幅整備以降、大型車の通行が激増しており、昼夜を問わず騒音と振動（地響き）に悩まされています。 ・6号線の竹馬川架橋については、今回、平成30年度までの完工路線に入っていないことがわかり、がく然としました。全ルートが整備が困難なら、竹馬川に架橋して大型重量車両が新曾根工業団地方面へ流れるようにしてください。	物流ネットワークの構築はもとより、生活道路への大型車の進入を軽減させるためにも、6号線の整備は必要と考えています。 6号線の整備については、吉田工区の南側（竹馬川以南）から北側に向けて順次進めていくこととしています。 工事に着手するまで、設計や用地買収など、様々な調整事項がありますが、早期供用を目指していきます。 （本編P10）	2	①
3	・黒崎バイパスや北九州総合病院前の道路整備をはじめ、北九州市は、大きな街にしては道路整備が進んでおり、スムーズな移動が出来て、道路の利便性は確実に向上している。これからも整備する道路や整備中の道路について早期完成を望んでいる。 ・黒崎バイパスが供用し、八幡西区～戸畑・小倉市街地間の移動がとても便利になった。春の町ランプの早期供用を望んでいる。	今後も更なる道路の利便性向上を目指して、早期供用が図れるように道路整備を推進します。 （本編P2, 10, 11）	2	①
4	・物流機能の強化とあるが、どの地域から物流の需要が発生しているのか。	本編10頁の広域物流ネットワーク図に緑色の丸でお示ししているように、主に産業団地や工業団地、港湾ターミナルなどの物流拠点からの物流の発生を考慮しています。 緑色の丸について「主な物流拠点」の凡例を追加します。 （本編P10）	4	②

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン1 都市の発展を支えるみちづくり 施策2 都心や副都心等に活力を与える中心市街地の道路整備				
1	朝夕ラッシュ時などの交通混雑解消を図るため、道路整備や交差点改良などを要望する。 (以下、具体的な箇所) ・八幡西区折尾の学園大通りの道路拡幅 ・葛原サンリブ付近の渋滞 ・北九州総合病院付近の道路が狭い ・守恒交差点の改良 ・浅生通り、戸畑天神2丁目の矢印信号改良 ・本城交差点、モノレール志井駅付近、こみね幼稚園(八幡西区)付近交差点の右折矢印信号設置 ・小倉南区JR下曾根駅付近の踏切と信号を連動 ・小倉北区赤坂3丁目～手向山公園東側(時間帯の一方通行規制の解除) ・主要渋滞箇所の道路上に案内板を整備し、渋滞情報などを予め提供してはどうか	これまでも都市内での渋滞解消や交通の円滑化を図るため、道路拡幅や交差点改良等を行ってきています。 ご要望、ご提案の内容については実施の段階で参考にさせていただきます。	2	①
ビジョン1 都市の発展を支えるみちづくり 施策1・施策2 共通				
1	・次期計画の策定に向けて、市民にもっとわかりやすい新たな指標の検討をお願いしたい。 ・ランプ10分圏域の拡大で、H25末実績で100%となっていますが、場所によっては10分以内にランプに到達できないのではないのでしょうか。	今回の見直しでは、市民の皆さんに効果を実感してもらえるような指標を設定するため、新たに「広域物流ネットワーク道路の供用率」(物流ネットワークとして機能する都市計画道路の供用状況を評価)の効果指標を追加しています。次回の計画策定時には、効果指標の達成状況等を踏まえて、新たな効果指標を検討します。 ランプ10分圏域とは、市内の全ての場所から10分以内にアクセスできるというのではなく、市民の概ね9割以上が居住する市街地の代表地点から最寄りのランプまでのアクセス時間を対象にしているものです。 本編に注釈を追加します。 (本編P11)	2	②

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン2 安全・安心な暮らしを支えるみちづくり 施策3 道路空間の有効活用及び再配分				
1	<p>市内に自転車走行空間が整備されているが、自転車の交通量が少なく、交通ルールも浸透していないように思う。</p> <p>さらに、自転車走行空間の整備を推進し、自転車が走行しやすいまちにしていきたい。また、あわせて自転車の交通ルールやマナー向上をお願いしたい。</p> <p>(以下、具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車走行空間の整備推進 ・ 自転車専用通行帯の整備 (歩道の一部に整備) ・ 利用者の多い駅やバス停などに十分な自転車駐車スペースを確保 ・ 駐輪スペースの所在地を周知する案内版を設置 ・ 自転車専用通行帯に自転車専用の信号を設置 ・ 都心部よりも高校、大学等の通学路を優先した自転車専用通行帯の整備 ・ イベント等を活用した自転車道の利用促進、ルールやマナーの向上 	<p>今後も引き続き、環境にやさしい自転車の利用環境の向上を目指して、「自転車走行空間ネットワークの形成」「駐輪環境の形成」「自転車と公共交通の連携」など、自転車の利用促進とあわせて、ルールやマナー教育等のソフト施策についても取り組んでいきます。</p> <p>(本編P12)</p>	2	①
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供や女性、高齢者に配慮したみちづくりを更に強化してほしい。 ・ ウォーキングコースとなる歩道の一部をゴムみたいな衝撃を吸収するものにした方が歩きやすくなる。 	<p>今後も引き続き、安全・安心な暮らしを支えるため、歩道の段差解消等の道路のバリアフリー化、歩道の拡幅、横断防止柵の設置等、通学路の交通安全対策を推進していきます。</p> <p>また、ゴムチップ舗装は、耐久性が悪く、路面が濡れている状態では滑りやすいなど維持管理上の課題があるため、現在歩道には使用しておりません。</p> <p>(本編P13、14)</p>	2	①
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が少なく必要性の乏しい歩道橋は、災害時に道路を遮断する恐れがあることや維持管理費の削減を図るとともにバリアフリーの観点からも将来的に除去することを考えてほしい。 	<p>歩道橋については、利用状況を踏まえ、学校や警察など関係者との協議が整ったものから撤去によるバリアフリー化に取り組んでいます。</p> <p>(本編P14)</p>	2	①

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン2 安全・安心な暮らしを支えるみちづくり 施策5 交通事故削減に向けた交通安全対策				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・原付バイクは道路左側端を走行するが、そこが自転車専用レーンであったり、路側帯がなく車線が増えるなど、四輪車と同じ車線を走行せざるを得ない道路が増えてきているので、原付バイクの安全に考慮した道路づくりをお願いしたい。 	<p>道路交通法では、原動機付自転車は自動車と同じ車線を通行することとなっており、自転車専用レーンや路側帯は、やむを得ない場合を除き通行出来ないことと規定されています。そのため、原動機付自転車の安全確保には、自動車運転手のルール・マナー周知が効果的であることから、今後とも警察など関係機関と協議を行っていきます。</p> <p>(本編P 15)</p>	2	③
2	<ul style="list-style-type: none"> ・予算には限りがあるので、交通安全と道路機能の維持を優先して、交通安全対策（自転車含む）を着実に進めてほしい。 	<p>今後も引き続き、効率的・効果的な予算執行に努め、交通実態を踏まえた適切な交通安全対策や計画的な維持補修を進めていきます。</p>	2	③
3	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点の一部に歩車分離信号機が設置されているが、市内全ての交差点に歩車分離信号を設置するよう警察にも要望してもらいたい。 	<p>歩車分離信号機は市内 90 箇所(H27.3月末時点)で導入されています。</p> <p>交差点における歩行者・自動車等の交通実態やその周辺道路の状況を踏まえ、警察と連携しながら交通安全の推進に取り組みます。</p>	2	④
ビジョン2 安全・安心な暮らしを支えるみちづくり 施策8 橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造物の老朽化のニュースを見て、心配していたが、橋梁等の長寿命化対策の計画を見て安心した。 ・カラーブロック舗装などの+αの整備は程ほどにして、橋梁・トンネル・舗装などの道路機能の維持管理を着実に進めてほしい。 ・長寿命化計画の早期完了をお願いしたい。 	<p>橋梁・トンネル・モノレールの長寿命化対策については、計画的に進めており、今後も引き続き着実に取り組んでいきます。</p> <p>また、カラー舗装等については、中心市街地や景観に配慮が必要な地区など、必要性の高い場所で計画的に整備することとしています。</p> <p>(本編P 18)</p>	2	①
ビジョン2 安全・安心な暮らしを支えるみちづくり 施策9 舗装維持修繕計画の策定				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・都市高速道路引野ICから永犬丸の道路でガタガタの所があるので修繕していただきたいです。 	<p>道路の維持修繕については、安全で快適な通行を確保するため、市民通報などで発見された異状箇所について緊急的な修繕を行うとともに、傷んだ舗装や橋梁などの計画的な修繕を行っています。</p> <p>今後も必要に応じた修繕や道路施設の適正な維持管理に努めていきます。</p> <p>(本編P 18)</p>	4	①

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策11 小倉都心部低炭素まちづくり推進プランの取り組み				
1	・環境先進都市と記載がありますが、今後に向けて電気自動車や水素自動車について、触れられる点はないでしょうか。	本計画は、道路整備に関する計画であるため環境に配慮した自動車自体についての計画に触れることは出来ませんが、ご意見については環境部局に伝えます。	3	③
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策12 北九州市環境首都総合交通戦略の推進				
1	・商業施設を公共交通結節点にすることで、乗り継ぎの利便性や乗り継ぎ時間の有効利用をはかってほしい。 ・交通戦略の一層の推進を図ってほしい。	今後とも利用者が多い主要な鉄道駅やバス停では、待合環境や乗り継ぎ環境の改善に取り組むなど総合交通戦略を推進していきます。 (本編P20)	2	③
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策13 魅力的なみちづくり				
1	・お店や病院の前、バス停など、人通りが多く、日陰になるところなどに、座り心地がよく快適なベンチを増やすと、高齢者も、街なかに外出しやすくなると思います。また、近所の方やお店・病院等と協力してきれいな状態でベンチを維持管理していくような仕組みがあるといいと思います。 ・にぎわいづくりとして、イベント時や休日に、都心の道路や広場に、オープンカフェやフードカー、屋台などがもっと増えてくると、活気が生まれて、来訪者も増えるのではないかと思います。	ご提案の内容については、本編21頁の魅力的なみちづくりの中で、地域の皆様と協働・連携し、道路を活かしたにぎわいづくりに取り組んでいきます。 本編の文章に追記します。 (本編P21)	2	②
2	・「オープンカフェ」「道路照明を活かした広告」などは、それぞれ、小倉(オープンカフェマンス)、若松(中川ストリート)等の事例があると思います。出来る限り、市内の実際の写真を使用したらよいと思います。	この取り組みについては、現在本市で行われている一時的なイベントではなく、年間を通じた継続的な取り組みを考えているため、他都市のオープンカフェやベンチの写真を参考として使用しています。 (本編P21)	3	③
3	・黒崎副都心のにぎわい方策、黒崎駅から商店街に向かったとき、パチンコ店ばかりが立ちばばかり、汚いところがある。これをなくさなければ、副都心の再生は無理と思われる。	黒崎駅周辺では、ペDESTリアンデッキへのルーフ設置や、南北自由通路の整備など、副都心に相応しい歩行空間の整備を進めて参ります。	4	④
4	・枯れた街路樹の植え換えをお願いしたい。	道路緑化については、道路の環境保全を目的として行っており、今後も適切な維持管理を行っていきます。 (本編P20)	2	①

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策14 道路サポーターの充実				
1	・道路サポーターの拡大（発展）は、市のPRにつながるため、道路サポーターの活動を、さらに市内外にアピールすべきでは。	ご意見を参考に以下の内容を追加します。「更なる活動の拡大を目指して「道路サポーターだより」や「ホームページ」などを活用し、情報発信に取り組みます。 (本編P21)	2	②
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策15 北九州風景街道の推進				
1	・景観に配慮してレンガ舗装をするのは分かるが、乗入でガタつきなども見られるので、できる限り歩行しやすいように工夫してほしい。	レンガ等の舗装材の使用については、人が集まる街なか限定するなど、必要性を十分に検討するとともに、車両乗り入れ部では舗装の厚みを工夫するなど、歩きやすい歩行空間づくりに努めていきます。	2	③
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策16 中心市街地のサイン整備				
1	・中心市街地のサイン整備に迷惑行為防止規制区域等を記載してはどうか。	今後の整備の中でサインに標示する内容についても、必要な情報を分かり易く提供できるように取り組みます。	2	①
2	・小倉駅周辺の歩道（地面）を全面的に光らせている色々な色や形を表現する。更にその光で矢印や文字を作って商業施設まで誘導したり広告を流したりする。	歩行者を目的地へ円滑に誘導することができるよう、引き続き中心市街地において、わかりやすいサイン整備を進めていきます。 (本編P22)	2	③
ビジョン3 美しき環境先進都市を支えるみちづくり 施策17 道路照明のLED化				
1	・まだ道が暗いところがあるので、街灯のLED化を早く完了させて下さい。	今後も道路照明のLED化を推進する基本計画に基づき、道路照明灯や街路灯、生活街路灯の計画的な整備を進めていきます。 (本編P22)	2	①

【意見の内容】

1. 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
2. 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
3. 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
4. その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済み
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

NO.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
その他				
1	<p>・物流から賑わいづくりまで幅広い取り組みをされていることが分かりました。</p> <p>・今後も市の発展や市民の安全・安心につながる道路整備は着実に進めてほしい。</p> <p>・バリアフリー化、サイン整備等、誰もが快適に利用できる整備の推進が望まれる。</p>	<p>今後も更なる利便性向上を目指して道路整備を推進します。</p>	1	①
2	<p>・北九州市の人口は減少していく一方の中、新規又は拡幅して道路を整備する必要はあるのでしょうか。</p>	<p>物流ネットワークの充実や交通渋滞対策、交通安全対策など、都市の発展や安全安心な暮らしを支えるみちづくりは今後も必要と考えています。今後も計画的な道路整備に取り組んでいきます。</p>	2	③
3	<p>・アンダーパスの冠水対策について、注意書き等の対策はありますが、十分な予防対策はなされていないのではないのでしょうか。</p>	<p>冠水時の車両進入を防止するため、注意喚起の標示板・路面標示、水深標示、冠水警報装置等の整備を行うとともに、ホームページ、市政だよりなどによる啓発活動を行うなど今後も、事故防止対策に取り組んでいきます。</p> <p>(本編P47)</p>	2	①
4	<p>・北九州市には、伐竹を基材とする舗装材を地元企業が開発し、製造・販売・施工するという市民/NPO/企業による協働の取り組みがあります。遊歩道や法面緑化などにおける積極的な採用により、協働を促進し、ものづくりのまち・北九州らしい資産としての第6次産業を建設行政から発信されることを望みます。</p>	<p>低炭素社会づくりの取り組みとして、舗装材やベンチなどにリサイクル材を活用しています。</p> <p>また、本市で発注する建設工事では、地元企業の受注機会拡大の観点から、地元企業で対応が可能なものは優先的に発注を行うなど本市経済の振興と地元企業の育成に取り組んでいます。</p> <p>(本編P19)</p>	2	③
5	<p>・且過第一地区の再開発事業について、且過は夜や土日がさみしいのでその時間帯に路上ライブや路上コンサートなどを行う。また、且過の2階以上を小規模のライブハウスなどを複数作って若者を集めるような拠点施設にしてもらいたい。</p> <p>小倉駅周辺に大規模な商業施設やオフィスビルが少ないので増やすことによって活気をつけて市民だけでなく観光客にも便利な街になる。</p>	<p>且過地区では、且過市場の再整備に係る計画の検討が市場関係者などで構成する検討組織で行われています。</p> <p>また、小倉駅小倉城口の駅前広場に面した小倉駅南口東地区では住宅や商業、業務などを用途とする複合ビル建設の計画が再開発組合によって進められています。</p> <p>今後これらの事業にあわせて、道路環境の改善等を図っていきます。</p>	4	④
6	<p>・最近、高速道路等の逆走が増えているので対策をお願いします。</p>	<p>ご意見については、高速道路を所管している部局へ伝えます。</p>	4	④